



www.alpajapan.org

日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

Date 2003.6.24 No 26 - 82

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770 FAX.03-5705-3274

E-mail:office@alpajapan.org

IFALPA Legal、AA、Industrial Committee Joint Meeting が日本で開催されました！！

去る6月9日から12日までの4日間、品川プリンスホテルにおいてIFALPA Legal, Accident Analysis, Industrial Committee 合同のJoint Meeting が開催されました。IFALPA からは6名の本部役員のうち、会長(Capt. Dennis Dolan)を含む5名の役員をはじめ、Committee のメンバー約100名が参加し活発な議論が行われました。またWelcome Party や懇親会の場では酒を酌み交わしたり、語り合ったりで各々時間の経過を忘れるほど交流を深めました。さらに今回は航空機メーカーのエアバス社、ボーイング社の代表もAA Committee Meeting に参加し議論に加わりました。

9日には、Accident Analysis Safety Seminar が開かれました。IFALPA Legal Committee 委員長、IFALPA AA Committee 委員長および安藤真之 IFALPA PO (本部役員、副会長) が、それぞれ事故解析と刑事訴追について世界の实情と日本の特殊性を説明し、Seminar 出席者への理解を求めるとともに質疑応答を行いました。同日別の会議室ではIndustrial 委員会が開かれ、日本航空の勤務裁判の進捗状況が報告され質疑応答が行われました。

10日には、AA 委員会が行われている会議室に3つの委員会が集まり、JAL706 便事故のプレゼンテーションが行われ、当該事故への正確な理解を求めるとともに各委員会の専門分野において今後有効な活動方針を作成していく必要性が確認されました。

11日、12日は委員会が開催される一方、IFALPA 会長をはじめIFALPA 本部役員による東京高等裁判所、国土交通省および法務省等への訪問を精力的に行いました。

今回のような合同 Meeting は、日本としては長い歴史の中で初めての経験でした。また、「事故調査と刑事捜査との関係」等日本の特殊な事情を改善することが最大の目的となっていました。各 Committee の議論や Safety Seminar 等を通じて大きな成果があったと言えるでしょう。

会議の運営や庶務作業は副議長や事務局次長を中心に総人数15名で期間中スケジュールを調整しながら当たり、連日大きなトラブルも無く終えることができました。

また初めての合同 Meeting であることから当初の予算を上回ることが予想されましたが、日航三乗組基金、JAS 乗員組合、エアバスおよびボーイングからの資金援助が得られ、当初予算の範囲内で納めることが可能になりました。

各 Committee 委員会の詳細、会計報告等はそれぞれ、各担当者から報告される予定です。

